

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
理念に基づく運営						
1. 理念の共有						
1	1	地域密着型サービスとしての理念	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を全員が共有し、住み慣れた地域での安心した暮らしを継続できるよう幅広い支援を謳った理念を作り上げている。		理念を皆が共有し、さらに追求し質向上をはかりたい。理念を具体化して行くこと。
2	2	理念の共有と日々の取り組み	管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掘り下げて職員全員で話し合い、ケアの統一を図っている。		同左
3		家族や地域への理念の浸透	事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族会議、推進会議、或いは、ご家族面会時等理念等を繰り返し、お伝えしている。また、自治会へのアプローチにも努めている。		同左
2. 地域との支えあい						
4		隣近所とのつきあい	管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に近隣散歩やスーパーへの買出し行き近隣の方々と挨拶を交わしている。馴染みの美容院がある。		入居者様の個々の希望に沿うようさらに幅広く支援していきたい。
5	3	地域とのつきあい	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会行事、小学校運動会、保育クラブの子供達との交流を積極的に行っている。		同上
6		事業所の力を活かした地域貢献	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の様々な研修、会合に参加し啓発に努めている。人材育成の貢献として実習生の受け入れを積極的に行っている。		同左
3. 理念を実践するための制度の理解と活用						
7	4	評価の意義の理解と活用	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全職員で行いまた外部評価の結果を次のサービス取り込んでいけるよう、常に質の向上に努めている。		同左
8	5	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所からの報告や現在行っている報告を行い、参加メンバーから質問、意見、要望を受け、一つずつ積み上げていくようにしている。		同左
9	6	市町村との連携	事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の介護保険課や包括支援センターへ、折に触れて訪問し、また研修を受け入れる等、現況を報告し、また意見やご指導を頂		同左
10		権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度などは管理者が対応している。またパンフレットを配布できるよう準備し、必要な方には説明できる態勢にしてい		職員にたいしては、引き続き研修への機会を求めていきたい。
11		虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	本社委員会組織に代表者を参加させてその内容を施設の各フロア単位の委員に伝達し全職員に浸透させ防止をは図っている。		同左
4. 理念を実践するための体制						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
12		契約に関する説明と納得	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	施設見学～重要事項の説明まで確実にしてから契約に結び付けている。利用者の状態変化による退去の際は、本人やご家族と対応方針を相談している。		同左
13		運営に関する利用者意見の反映	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の言葉や態度からその思いを察する努力をし、利用者本位の運営を心がけている。(例：誕生会でのリクエスト等)		同左
14	7	家族等への報告	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会議での報告や意見交換の場を通じたり、訪問時また月1回の近況報告を実施している。		同左
15	8	運営に関する家族等意見の反映	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会では、何でも言える雰囲気作り心がけている。また訪問時等に個別にお話をさせて頂いている。		苦情申したて機関の紹介を平素から行っている。
16		運営に関する職員意見の反映	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	アンケート調査及び、年二回の面談の場を設けている。また申し送り簿やカンファレンスの場、その他日常的に対応している。		同左
17		柔軟な対応に向けた勤務調整	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	基本的に管理者はシフトに入っていないため入居者の状態に応じた柔軟な体制作りを行っている。		同左
18	9	職員の異動等による影響への配慮	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	フロア単位毎に職員を固定し顔馴染みの態勢をとっている。新しい職員や研修者に対しては必ず入居者に紹介している。		短期間勤務の方を除き、皆一年以上勤務している方で構成している。本年も皆で明るく仲良く楽しいをフロアを合言葉にスタートした。
5. 人材の育成と支援						
19	10	職員を育てる取り組み	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本社研修計画に連動させて勤務表を作成し、必要な研修を段階的に実施させている。初任者、感染症対策、口腔ケア、消防訓練などOJTにより実施している。		同左
20	11	同業者との交流を通じた向上	運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	本社を通じ相互訪問し、お互いの問題点などサービスの質の向上に資することを実施している。		相互訪問の拡充を目差したい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩室の設置、休暇の取得促進、期に応じ親睦会等の場を設けている。勤務希望を調査し働きやすい勤務表作りをしている。		話しやすい環境構築に努め、職員の意見取り入れた、ストレス軽減策を引き続き探求実践していく。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	12月と6月の2度面談の場を設けている。		同左
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
23		初期に築く本人との信頼関係	相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前相談を行い、ご自宅等を訪問し生活状態や思いを把握し、不安解消を図っている。また入居時は、就寝近くまで寄り添い対応している。		同左
24		初期に築く家族との信頼関係	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前相談・見学の間を設けまた必要に応じ、ご自宅等を訪問しが家族の求めているものを理解し対応できるように話し合いしている。		同左
25		初期対応の見極めと支援	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、ご家族や本人の思い、状況を確認したり、紹介先センターとの調整を踏まえた対応をとっている。		同左
26	12	馴染みながらのサービス利用	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前見学等含め、雰囲気徐々に慣れて頂く。入居時に普段使用しているものなど持ってきて頂いたり、約1ヶ月程度は、慣れていただくことに全力をかけている。		同左
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ティタイムの時間等に職員や入居者様と共にお話をしたり、時にはスキンシップを図ったり双方の立場を乗り越えて寄り添いの心で対応している。		同左
28		本人を共に支えあう関係	家族との職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会議や面会の場を利用して、職員と家族との関係を深めている。ご家族と共に支える関係を構築している。		同左
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の家族への思いや家族の本人への思いを結びつけるよう支援している。		同左
30		馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所依頼から利用している美容院やファミリーレストラン或いは散歩、買い物等、継続的な支援をしている。		同左
31		利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共同生活の中で仲良く、楽しく暮らせるよう夫々の性格や不足部分を補い普通の生活を続けられる様援助している。		同左
32		関係を断ち切らない取り組み	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も関係を構築できるようにしたい。		関係を継続的にされたい方に対しては、積極的にお手紙などを通じて近況など送っていききたいと思っています。
3. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
1. 一人ひとりの把握						
33	14	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声掛けをし把握に努めている。周りの方皆で情報を共有して角度の高い思いや意向を汲み取っている。		同左
34		これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前には可能な範囲で、ご自宅を訪問し環境や暮らしの方、習慣など把握に努めて		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
35		暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者様一人一人の生活リズムを理解するとともに細かな出来事や行動から全体像を把握している。		同左
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し						
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や、ご家族には常日頃から思いなどを聞くとともに、カンファレンス、アセスメント、モニタリングを含め、職員全員の意見を聞いたりして行っている。		同左
37	16	現状に即した介護計画の見直し	介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご家族やご本人の希望を聞いたり、また計画の終了前でも状態変化に応じ見直しを図っている。		同左
38		個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に各種記録用紙を作成し、日々の生活状況を記録し何時でも職員が情報を共有し、確実に行えるようにしている。		同左
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制を活かしてその利用者にとって負担となる通院や入院の回避を図れるよう早期に原因を除去できる態勢を整え生活の継続を追及している。		同左
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働						
40		地域資源との協働	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人と地域の様々な資源を活用できるよう支援している。ボランティアや小学校、保育クラブ自治会や消防等との協働につとめて		同左
41		他のサービスの活用支援	本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ボランティアによる映画鑑賞や訪問理容サービスを利用して頂いている。		同左
42		地域包括支援センターとの協働	本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターに入居者の募集や更新手続きなどの際、各種情報を頂いたりする等協働できる態勢を構築している。		同左
43	18	かかりつけ医の受診支援	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院の希望は、ご家族の希望に応じて対応している。基本的には、ご家族が同行するようにしているが、職員が代行することもできるよう家族会議にてお話している。		同左
44		認知症の専門医等の受診支援	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	毎週訪問されるため、職員の日々の様子を確認するとともにご本人を診察してくれているため、密接な関係を構築していると思いま		同左
45		看護職との協働	利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	常勤の看護職と介護職員と常に情報交換をするとともに、カンファレンスには必ず必要な事項を双方の意見を要望を交換し合っ		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
46		早期退院に向けた医療機関との協働	利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携し	入院時は、関係職員や看護師を病院関係者と連携をとるため定期的に面会を兼ねて訪問している。		同左
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に緊急時の対応の中でご家族の考えを確認し、施設としてできることを双方で話し合っている。また、かかりつけ医を含め、四者間において考え方を共有している。		同左
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	みとりについては、現在検討中である。この中で出来る事、出来ない事を把握し対策を検討中である。		同左
49		住み替え時の協働によるダメージの防止	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに	ご家族・ご本人の不安を解消するため、十分な相談をし、考えられる支援を行っている。		同左
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
1. その人らしい暮らしの支援						
(1) 一人ひとりの尊重						
50	20	プライバシーの確保の徹底	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	基本理念を皆が共有し、尊厳を守ることを第一に支援している。個人情報については、関係者以外に情報が流失しないように指導するとともに書類は鍵のかかる書庫等に保管し、注意している。		同左
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援	本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	身近なことから自己決定を促し支援を行っている。		同左
52	21	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の生活リズムにあった支援を行い、押し付けは行うことなく個別ケアの理念を堅持している。		同左
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援						
53		身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	いきつけの美容院や訪問理容或いはご家族と昔からの所に行ける様支援している。		同左
54	22	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備～片づけまでを楽しい一日の一つの位置づけとして楽しい食事作りを行っている。		同左
55		本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は一人一人のお好きなものを承知しており期に応じて楽しめるように支援している。		同左
56		気持ちよい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表等により排泄習慣や時間間隔を理解して自力排泄できるよう支援している。		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
57	23	入浴を楽しむことができる支援	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方的に決めず必ずお伺いしてご本人の希望に沿うように入浴して頂いている。		同左
58		安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お一人お一人の生活習慣を知り、それに合わせた休息をとって頂いている。		同左
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援						
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	地域の行事予定等を紹介して、ご希望に沿った支援を取り入れている。		同左
60		お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分の財布を持って頂いて、少額を手元に持って頂いている。		同左
61	25	日常的な外出支援	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩など本人の希望に沿った支援を行っている。		同左
62		普段行けない場所への外出支援	一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	定期的に入居者皆様の希望を取り外出支援を行っている。		同左
63		電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙などが必要なときは、何時でもお手伝いできるように支援している。		同左
64		家族や馴染みの人の訪問支援	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	誰もが訪問できるよう、明るく楽しい雰囲気を作っている。		同左
(4) 安心と安全を支える支援						
65		身体拘束をしないケアの実践	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	本社組織の委員会を通じて、施設の代表者、各フロアの委員そして全職員へ浸透できる態勢を保持している。また日々鍵をかけない自由な暮らしを支援している。		同左
66	26	鍵をかけないケアの実践	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んで	玄関は、自由に出入りできる態勢を保持している。		同左
67		利用者の安全確認	職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は、日中同じフロアにて見守りや記録等を行い状況の把握に努めている。夜間は、定時に安否確認を実施し、常に同一フロアに所在している。		同左
68		注意の必要な物品の保管・管理	注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	整理整頓に心がけるとともに、針等危険なものは、職員が管理し、必要なときに、見守りながら使用していただいている。		同左
69		事故防止のための取り組み	転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでい	一人一人の		同左
70		急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを作成し、緊急時に素早く対応できる態勢を整えている。		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
自己評価	外部評価	タイトル	小項目			
71	27	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回入居者様を含め、消防署員指導の下避難訓練等を実施している。また運営推進会議を通じ地域の協力を得られるよう働きかけている。		隣近所の方々の協力が得られるように努力していきたい。自治会にも多様な方々が居られるため働きかけていきたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	居宅訪問医の指導を得て、看護師を中心として近況報告や家族訪問時等に話し合っている。		同左
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援						
73		体調変化の早期発見と対応	一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	起床時、一日二回バイタルチェック、入浴時の身体状況、食事量などにより状態変化を見逃さないようにするとともに、口頭での伝達と申し送り簿によりすばやい対応に心が		同左
74		服薬支援	職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を正しく理解して、誤薬ゼロ運動を展開している。		同左
75		便秘の予防と対応	職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	医師や看護師と連携し、その教育・指導を受けつつ排便チェック表を作成し、水分摂取や運動に心がけている。		同左
76		口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアの重要性を職員に教育し、個々のやり方を重視して、口腔内の清潔保持に努めている。		口腔ケアについては、現在看護師を中心に職員に指導教育し実践途中である。引き続き行っていきたい。特に拒否をする方々のケアに工夫をつけた
77	28	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量を管理できるよう記録により確認できるように行っている。		同左
78		感染症予防	感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	現在は、ノロウイルス、インフルエンザへの対応を重点に昨年11月より実施中です。		同左
79		食材の管理	食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理前の手洗いの励行や包丁、まな板、布巾などの消毒や十分な流水などにより衛生に留意している。食材納入業者に対しては、食品の安全について適宜確認している。		同左
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり						
(1) 居心地のよい環境づくり						
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫	利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしてい	季節のお花を鉢植えにして玄関回りを親しみやすいように工夫している。		同左
81	29	居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	静と動に注意するとともに、イベントなどの思い出の写真を掲示する等工夫している。		同左
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由な個室内のレイアウトや過ごしやすい、話しやすいリビングの工夫に努めている。		同左

項目番号		項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいき たい内容 (すでに取り組んで いることも含む)
自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目			
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家庭に居られる時より使用していた馴染みの品物等をご自由にお持込して頂いている。(湯飲み茶碗等)		同左
84		換気・空調の配慮	気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	夏季、冬季に応じた空調に努めている。特に夜間循環し適切な空調に努めている。また乾燥時は、洗面台に水をはる等している。		同左
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり						
85		身体機能を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや自立度に応じたトイレを設置し、自立が可能なように工夫している。		同左
86		わかる力を活かした環境づくり	一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	わかる力を助長し、わからない力を補うように職員一同支援している。		同左
87		建物の外周りや空間の活用	建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節のお花を飾り明るい雰囲気を作っている。		鉢植えの整備など引き続き入居者とともに行って行きたい。

(様式1)

自己評価票

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己評価	外部評価	タイトル	
サービスの成果に関する項目			
88		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89		利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91		利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者がころへ出かけている 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどいない
96		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項目番号		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
自己 評価	外部 評価	タイトル	
97		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98		職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない